

1. 刊行の趣旨

日本図書館協会出版委員会が、2004年より企画・刊行を始めた、新しいシリーズです。図書館員の実務にすぐに役立つ情報を理解しやすい形で提供し、あわせて図書館利用者の方々にも図書館の仕事を知っていただき、利用する上でのヒントをつかんでいただくという意図でスタートしたものです。

したがって、その企画内容は多岐にわたり、

- ・図書館現場での個々の実践にすぐに使えるマニュアル
 - ・図書館員が仕事の中で遭遇する数々の問題に対処できる事例集
 - ・図書館実務の基礎知識を提供する入門書
 - ・図書館からの情報提供を円滑にし、利用者が迅速に情報を入手できるヒント集
 - ・利用者の視点から見た図書館の活用法
 - ・新しいサービスを始めるときや、新機器を導入するときの手引きになる先進的な取り組みの紹介
 - ・図書館をマネジメントするときに必要な知識を提供する解説書
 - ・図書館員と利用者のよい関係を築くための参考資料
 - ・図書館現場での実践に役立つ最新情報の提供
 - ・図書館の魅力を図書館外に伝えていくための本
- などのさまざまなテーマを、このシリーズに収めていく予定です。

2. 既刊紹介 (2015年2月現在)

1. 実践型レファレンスサービス入門 補訂版 斎藤文男・藤村せつ子著/203p/1800円
2. 多文化サービス入門 日本図書館協会多文化サービス研究委員会編/198p/1800円
3. 図書館のための個人情報保護ガイドブック 藤倉恵一著/149p/1600円
4. 公共図書館サービス・運動の歴史 1 そのルーツから戦後にかけて
小川徹ほか著/266p/2100円
5. 公共図書館サービス・運動の歴史 2 戦後の出発から現代まで
小川徹ほか著/275p/2000円
6. 公共図書館員のための消費者健康情報提供ガイド
ケニヨン・カシーニ著/野添篤毅監訳/262p/2000円
7. インターネットで文献探索 2013年版 伊藤民雄著/196p/1800円
8. 図書館を育てた人々 イギリス篇 藤野幸雄・藤野寛之著/304p/2000円
9. 公共図書館の自己評価入門
神奈川県図書館協会図書館評価特別委員会編/152p/1600円
10. 図書館長の仕事 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記
ちばおさむ著/172p/1900円
11. 手づくり紙芝居講座 ときわひろみ著/194p/1900円
12. 図書館と法 図書館の諸問題への法的アプローチ 樋水三千男著/308p/2000円
13. よい図書館施設をつくる 植松貞夫ほか著/125p/1800円
14. 情報リテラシー教育の実践 すべての図書館で利用教育を
日本図書館協会図書館利用教育委員会編/180p/1800円
15. 図書館の歩む道 ランガナタン博士の五法則に学ぶ 竹内愨解説/295p/2000円
16. 図書分類からながめる本の世界 近江哲史著/201p/1800円
17. 闘病記文庫入門 医療情報資源としての闘病記の提供方法

石井保志著／212p／1800 円

18. 児童図書館サービス 1 運営・サービス論
日本図書館協会児童青少年委員会児童図書館サービス編集委員会編／310p／1900 円
19. 児童図書館サービス 2 児童資料・資料組織論
日本図書館協会児童青少年委員会児童図書館サービス編集委員会編／322p／1900 円
20. 「図書館学の五法則」をめぐる 188 の視点 『図書館の歩む道』読書会から
竹内慈編／160p／1700 円
21. 新着雑誌記事速報から始めてみよう RSS・API を活用した図書館サービス
牧野雄二・川嶋斉著／161p／1600 円
22. 図書館員のためのプログラミング講座 山本哲也著／160p／1600 円
23. RDA 入門 目録規則の新たな展開 上田修一・蟹瀬智弘著／205p／1800 円
24. 図書館史の書き方・学び方 図書館の現在と明日を考えるために
奥泉和久著／246p／1900 円
25. 図書館多読への招待 酒井邦秀・西澤一編著／186p／1600 円
26. 障害者サービスと著作権法 日本図書館協会障害者サービス委員会，著作権委員会編
／131p／1600 円

3. 出版物としての体裁

判型・ページ数：B6 判、並製、160～180 ページ

ページの体裁：横組み、1 ページの字数 27 字×27 行（729 字）

構成の形： 本扉

本扉裏（英文タイトル、書誌事項）

はじめに

目次

I 部、II 部・・・という扉

そのもとに 1 章、2 章・・・ 章は改ページ、見出し 6 行どり

章のもとに 1.1、1.2・・・ 節は前後 1 行空き

節のもとに(1)、(2)・・・

必要に応じて参考文献、資料等

索引

奥付

4. 刊行までの流れ

企画立案（出版委員会、協会内の委員会、著者からの持ち込み、など）

↓

出版委員会で協議、日図協からの刊行を了解

↓

執筆依頼、あるいは執筆開始

↓

脱稿、原稿の内容確認（出版委員の査読も含む）

↓

事務局に原稿提出

↓

製作作業（校正、索引作成等）

↓

完成